

ナワシログミ

Elaeagnus pungens Thunb.

グミ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における生育地が限られ、個体数も少ない。(現況:R-)

形態

常緑低木。高さ2.5m内外。密に分枝し、小枝の先はしばしば刺になる。葉は革質で厚く、長楕円形。縁は波状でやや裏に曲がる。表面は深緑色で光沢があり、裏面は汚白色のささくれたような鱗片におおわれて光沢は無い。花は葉腋に1~数个束生し、萼筒は長さ6~7mm。萼裂片は筒部の約半長。

国内分布

本州(伊豆半島以西)、四国、九州。

県内分布

加賀中央区、南加賀区。

生態など

花期は10~11月。果実は冬を越して、4~5月頃に紅熟する。

生育環境

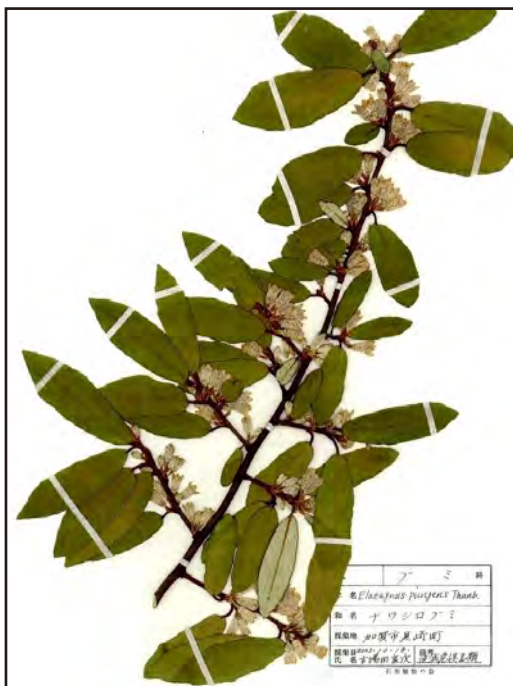
丘陵地や海岸近くの林野。

危険要因

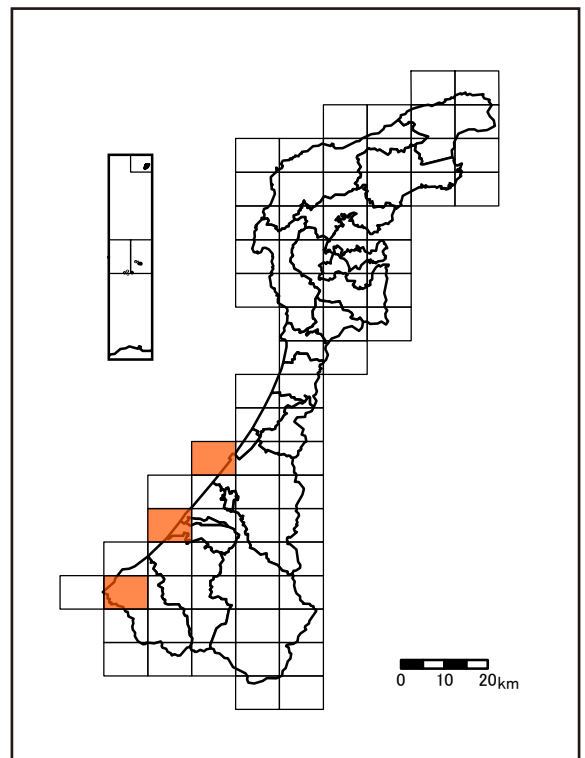
池沼開発、河川開発、産地局限。

特記事項

本来の自生が疑わしい。



古場田良次・2003年10月18日・加賀市



県内の分布